

## 令和7年度に向けた懇話会の取組について

## 1 令和6年度に目指すゴールイメージ(懇話会当初)

検討事項		ゴールイメージ
(1) 学校制度のあり方(義務教育学校等)	⇒	義務教育学校や小中一貫校など、学校制度を総論的にどのようにしていくか。
(2) 新たな学校施設の敷地	⇒	どこの敷地で新しい学校を建設するか。
(3) 望ましい公共施設複合化	⇒	地域コミュニティの拠点を目指し、どのような公共施設機能が必要か。

## 2 意見交換の結果

検討事項とゴールイメージ	意見交換の方向性
(1) 学校制度のあり方 義務教育学校や小中一貫校など、学校制度を総論的にどのようにしていくか。	⇒ ・異学年交流や9年間を通した子どもの成長、教職員のマネジメントを中心に、 <b>義務教育学校に対する期待は大きい。</b> ・放課後などの子どもの居場所においても、兄弟で同じ場所にいてくれるという保護者にとってもメリットがある。 ・新たな学校のあり方として、何をやるのかというソフト面が重要。
(2) 新たな学校施設の敷地 どこの敷地で新しい学校を建設するか。	⇒ ・ <b>大根小学校と大根中学校の敷地を一体的に活用</b> できるのであれば、余裕を持った施設が期待できる。 ・学校行事等も考えると敷地は広い方がよい。 ・一方で、通学距離や周辺道路、跡地活用に対する検討は必要。
(3) 望ましい公共施設複合化 地域コミュニティの拠点を目指し、どのような公共施設機能が必要か。	⇒ ・ <b>公共施設との複合化は様々な側面から期待したい。</b> ・特に子どもの放課後の居場所づくり、高齢者の居場所づくりで、交流ができる仕組みづくりが大事。 ・安全対策は最優先であるため、セキュリティ面の検討は必要。

### 3 令和7年度懇話会の取組予定

#### (1) 課題に対する意見交換

・令和6年度の意見交換された内容のうち、特に課題として示された面について更なる意見交換を図り、課題解決の可能性の糸口を探る。

#### (2) 学校施設の具体的な検討

・はるひ野小学校、はるひ野中学校の視察を踏まえ、学校の中のつくりなどについて、意見交換を実施。  
また、教職員や子どもなど、当事者の意見の聴取も実施する。

#### (3) 様々な方への意見聴取(部会取組)

・これまでの懇話会の意見交換を懇話会のみならず、様々な関係者への意見を聴取していく。アンケート調査やワークショップなどを通じて実施する。

#### (4) 提言書の作成

・市へ提出する大根中学校区の新たな学校施設づくりに関する提言書を懇話会として9月ごろまでの提出を目指して、取りまとめる。  
・市は、提言書を踏まえ、大根中学校区学校施設整備構想として作成を進める。